

主の祈り (93-5A)

天にまします われらの父よ
ねがわくは、み名をあげさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ
われらの日用の糧（かて）を、今日もあたえたまえ
われらに罪をおかすものを、われらがゆるすごとく
われらの罪をもゆるしたまえ
われらをこころみにあわせず、悪よりすくいいだしたまえ
国と ちからと さかえとは、かぎりなく、
なんじのものなればなり

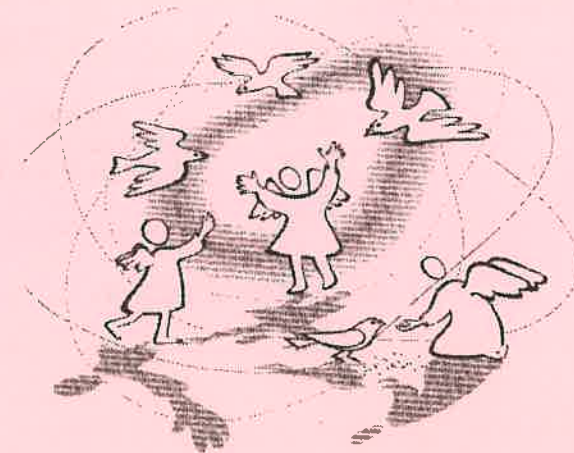
アーメン

石巻栄光教会宣教基本方針

石巻栄光教会は、主なる神と出会うイエス・キリストの体です。神様が愛している一人一人のかけがえのなさを思い出し、この世界を神様が大切にしていることを思い出す場所です。石巻栄光教会は、希望を生み出します。

私たちは、この社会の現実の中で生きています。教会の中だけでの満足にとどまらず、社会に生きる人々の痛みや苦しき、あるいは楽しみを共にしていくこと、そして、悩みや不安を分け合って喜びに変えていく教会になることを願います。

また、一人一人の生き方を尊重するとともに、神様から一人一人に与えられている賜物を活かして、神さまと人を愛し、感謝しながら地域に仕えていく教会を目指します。



日本キリスト教団 石巻栄光教会

〒986-0854 石巻市大街道北2丁目12-3

電話/FAX: 0225-22-4090

ホームページ: <http://tohoku.uccj.jp/i-eikou>

メール: i-eikou@tohoku.uccj.jp

振替口座: 02280-8-2810

教会創立: 1887年9月25日

集 会 案 内

聖 日 礼 拝 毎週日曜日 午前10:30

早 朝 礼 拝 毎週日曜日 午前 7:30

交 わ り の 会 毎週日曜日 礼拝後

み言葉と祈りの会 毎週水曜日 午後 7:30

2024年度標語 『これは、人の意志や努力ではなく、
神の憐れみによるものです』

- ◎ 聖日礼拝を共に守りましょう。
- ◎ 日ごと聖書に聞き、祈りましょう。
- ◎ 家族・地域に福音を届けましょう。
- ◎ 平和を創り出すために働きましょう。

No.2458

主日礼拝式順序

2025年2月2日

午前10時30分


 受付
司会
献金
奏楽

 礼拝当番は
礼拝堂に集まった人の中で
可能な方に担当いただきます。

 前 奏
招きの言葉
讃美歌

 [22] テトスへの手紙第2章11節
27

 司会者
一同

子どもたちへのおはなし

 祈 り
聖 書

イザヤ書60章2節

司会者

(新約聖書 136 ページ)

 讃美歌
お 話

 404 (1～2 節)
「あなたの上には栄光が」

一同

川上直哉 牧師

 讃美歌
献金
報告
讃美歌

404 (3～5 節)

一同

一同

司会者

90 (2 節)

一同

 祝福の祈り
後 奏

*当教会では 着席のまま礼拝を守っています。
*旧約聖書は前半(P.1502まで)、新約聖書はその後ろです。
*献金の額はいくらでも結構です。持ち合わせがないときは次の機会に。

∞〇∞〇∞〇∞〇∞ お知らせ ∞〇∞〇∞〇∞〇∞

皆様にお分かち致します。教会の財務が守られていますことを、
神様に感謝しています(詳細は週報別冊をご覧ください)。

∞∞∞∞∞∞ 今週の集会 ∞∞∞∞∞∞

☆「雅歌」読書会 2月3日(水)19:30～ オンラインにて

☆「御言葉と祈りの時」 2月5日(水)19:30～ 録画配信

∞∞∞ 次週の予告 (2/9) ∞∞∞

☆ 講壇交換 主日礼拝(お話: 仙台東六番丁教会 中本純 牧師)

[聖 書] 「申命記」21章22～23節/「フィリピの信徒への手紙」2章6～8節

[お 話] 「おのれを低くされる神」

[讃美歌] 26 51 280番 90 [招きの言葉] 1

受 付

 礼拝当番は礼拝堂に集まった人の中で
可能な方に担当いただきます。

奏 楽

∞〇∞〇∞〇∞〇 お知らせ ∞〇∞〇∞〇∞〇∞

✦今後の予定は以下の通りです

・2月9日(日)東北教区宮城中地区との講壇交換

(仙台東六番丁教会 中本牧師が10時半からの礼拝を担当)

・3月2日(日)牧師休暇・柴宿教会礼拝

(中澤竜生宣教師が10時半からの礼拝を担当)

・3月9日(日)齋藤朗子牧師が10時半からの礼拝を担当

《 先週の集会統計 》

聖日礼拝	13人	み言葉と祈りの会	4人
早朝礼拝	3人	聖餐式	7人
月定献金		特別献金	
穴戸珠美子 (11-1月)			
席上献金	¥21,040		

週報別冊

2025 年 2 月 2 日号

1. 教会宛に、以下の通信が届いています。

【石巻栄光教会関係】

- 「領収証」(いずみの会・東北ヘルプ) : 教会からのクリスマス献金への御礼状を頂きました。
- 「全国同信伝道会ニュースレター」 : 「ユースキャンプ」の報告などが掲載されています。

【日本基督教団・東北教区関係】

- 「アイヌ奨学金募金キリスト教協力会 ご支援のお願い」(北海教区宣教部平和部門委員会) : アイヌ民族のこどもたちの進学・学習教室・交流活動のために、目標「500 万円」の募金要請を頂きました。
- 「新会堂建築募金のお願い」(日本基督教団希望ヶ丘教会) : 同信伝道会の教会から、「創立 50 周年にむけて新たな宣教の可能性と、課題であった会堂の耐震性について検討する中で・・・一つは大きな地震が起きても耐震性に優れた安全な避難場所となること、もう一つはこれまで以上に地域の方々に開かれた居場所を提供すること、これらが、主の福音を伝え実践するために神様から託された新しい歩みと信じて、できるだけ多くの方々と共に教会堂建築の目標を達成したいと願っております」と、5500万円の資金計画で「200 万円」の外部献金の計画と要請を頂きました。

【日本基督教団・東北教区関係】

- 「藤田千代子氏講演会」(希望の灯をともし会) : 3 月 2 日(日)午後 2 時から、石巻専修大学にて、「アフガニスタンの砂漠を緑の大地に変えた中村哲石を支えた看護師」藤田さんの講演会が行われます。

- 「FEBC1566」(キリスト教放送局 FEBC) : 日本キリスト教団小岩教会の「日曜礼拝番組」等が掲載されています。
- 「教誨あれこれ」(全国教誨師連盟) : インタビュー「静岡のスリヤ佐野ヨハンナ雪恵教誨師を訪ねて」等が掲載されています。
- 「SINAPIS」(カトリック大阪高松大司教区社会活動センター・シナピス) : カトリックたかとり教会で 1 月 17 日に行われた「1995 年の阪神・淡路大震災から 30 年」の追悼式の写真等が掲載されています。

2. 牧師動静

1月27日(月)

午前中、休暇を頂き、午後、全キリスト教教誨師連絡協議会の全国研修大会実行委員会にオンラインで出席し、夜、東北ヘルプ理事会をオンラインで主宰しました。

1月28日(火)

午前中、「初心に帰ってルカ福音書を読む」を主宰し、夜、「宣教論読書会」をオンラインで主宰しました。

1月29日(水)

午前中、仙台で全キリスト教教誨師連絡協議会の研修大会のための会議をしてから、東北学院大学で調べ物をし、午後、カトリック研究所の会議に出席してから、夜、祈祷会を主宰します。

1月30日(木)

午前中、一件の訪問をして読書会と聖餐式をし、午後、東京へ出張し「支倉リーグ」の可能性を探しました。

1月31日(金)

日中、東京で、一件の訪問をして聖餐式をしました。

2月1日(土)

日中、教会で執務し、夜、世界食料デー仙台大会実行委員会をオンラインで主宰しました。

- 先週金曜日、午前中に、東京・高円寺にて、オンラインでいつも参加くださる佐山さんが主催して下さり、聖餐式が行われました。教会の活動が広がりを持っていますことを、神様に感謝しています。

2月3日(月)

午前中、中澤先生が主宰する「実践宣証会議」に出席し、午後、休暇を頂き、夜、「雅歌」読書会をオンラインで主宰します。

2月4日(火)

午前中、宮城刑務所で教誨活動をし、午後、東北学院大学で調べ物をし、午後、全キリスト教教誨師連絡協議会の会議にオンラインで出席します。

2月5日(水)

朝から韓国のみなさんをお連れしてサンファン館や「おむすび村」に参ります。この日の祈祷会は「録画配信」となります。

2月6日(木)

朝から、韓国のみなさんをお連れして福島県浜通りに参ります。

2月7日(金)

休暇を頂きます。

2月8日(土)

終日、「みちのく潮風トレイル」を歩いています。

※牧師と面会をご希望される方は、どうぞ、ご遠慮なく教会のメール宛、ご連絡ください。上記日程を調整して、ぜひお目にかかりたく存じます。

FEBC

番組案内 | 2025年2月



● AMラジオ1566kHz

毎日夜9時30分～10時45分

● インターネット放送 www.febcjp.com スマホで聴けます

FEBC特別番組 シリーズ『互いの内に聖霊を求めて』

「息吹はいつも『外』から―津山伝道集会」

平野克己(日本基督教団代田教会牧師)

2月1日(土) 夜10時04分より34分間



カトリックのフランシスコ教皇は言いました。キリスト者は聖霊の通気口だと。希望の風は内からではなく「外」から来るのです。

聖霊。元の言葉は風または息という言葉です。井上洋治神父は、この聖霊を「悲愛の息吹」と訳しました。悲しむほどの愛が神様から私達のもとに吹き込んでくる。私たちに希望が無くても、向こうからふーっと風が吹いてくるのです。

私が新任牧師として歩み始めたのは石川県金沢の小さな教会でした。そこで特に忘れられない方はトメさんという100歳近い方でした。当時の病院の環境は酷く、地下の一番奥に一番容態の悪いお年寄りが集められていた。もう15年も寝たきりで、しかも長く口から食事をしてませんから舌が乾いてはみ出ており、目は開いていますが、話しかけても反応がありませんでした。しかし、3回目の訪問だったのでしょうか。子供の頃から教会に行っている方と聞いていましたので、耳元で『主我を愛す』を歌ってみたんです。すると、目が輝いてはっきりこちらを見られ、明らかに同じリズムを刻んでいるのです。主イエスは我を愛してくださる。主は強い。主イエスが強いからには、私が弱くても恐れはない。どうしてか。我が主イエスが、我を愛してくださるから！自分の中の希望が全て燃えつくされて、全て無くなってしまっても、なお「外」から風が吹いてくる！新しい歌が生まれるのです。

伝道は、この希望の風に吹かれること。主イエスから新しい風が吹き続けているからです。トメさんも、私も、そしてあなたもこの「外」から息吹く風に生きるのです。

(文責・月刊誌編集部)